

平成28年度 市政アンケートモニター調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	静岡市のAED普及に関するアンケート調査 (保健医療課)	<p>アンケート結果から、AEDについての名前や用途の普及は進んでいることや、周りの人が倒れたときなどにAEDを使いたいという意識が広まっていることが把握できた。</p> <p>また、「24時間AEDを利用できる施設が身近にあるといい」と答えた方が90%を超えていることや、身近な施設として「コンビニエンスストア」を挙げる人が83%であったことについて、「静岡市AED普及推進に関する有識者会議」を開催し、市政アンケート結果から得られた市民意識を共有した。</p> <p>今後、アンケート結果を踏まえ、有識者会議で普及推進の方向性を引き続き検討し、アンケート結果を施策に結び付けていきたい。</p> <p>(平成28年6月より検討中)</p>
2	静岡音楽館AOIの利用に関するアンケート調査 (文化振興課)	<p>静岡音楽館に行ったことがない理由として「興味のあるイベントがないから」と回答した人の割合が34.3%と最も高かった。</p> <p>そのことについて、平成28年度より拡張した「アウトリーチ事業」では、静岡音楽館から離れた地域や施設においてクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、静岡音楽館の存在と静岡音楽館で行っている事業を広く認知してもらうための取組みを進めている。</p> <p>また、昨年度に引き続き、入場無料で様々なイベントが体験できる「AOIのオープン・デイ」を開催し、静岡音楽館を知る機会を作っている。今後も、施設の利用促進につながる取組みとして継続していく。(平成28年5月から8月にかけて実施)</p> <p>駅前3館(静岡音楽館、静岡市美術館、静岡科学館)連携事業を知らない人の割合は全体の75.5%に及んだが、平成29年度は静岡科学館にて「パイプオルガンのしくみ」を開催し、翌日のオルガン¥500コンサートとあわせて実施する。</p> <p>この他にも、静岡市美術館での「坂本龍馬展」に関連したコンサートを予定しており、今後も文化のジャンルを超えた事業を展開し、駅前3館連携事業を通して静岡音楽館の認知度向上と利用促進に努めていく。(平成29年8月実施予定)</p>
3	「自発光式反射材」に関するアンケート調査 (生活安心安全課)	<p>《平成29年度実施中》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反射材を着用している人の割合が、自発光式でないものを合わせても全体の約3割にとどまったこと ・反射材を着用しない理由について「買ってまでつける気はない」と回答した人が最も多いこと <p>上記のことから、自分の身を自分で守るためにも「自発光式反射材」は有効であり、着用するよう継続的に呼びかけていく。</p> <p>《平成29年度実施検討》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自発光式反射材の有効な配付先について「街頭啓発活動の啓発品として配付」「市主催イベントで配付」との回答が多くあったこと ・反射材を着用しない理由について、「販売場所がわからないから」との回答が多くあったこと <p>上記のことから、庁内全課、事業所等に依頼し、ノベルティとして配付してもらうなどの方法を検討する。</p>

	調査項目（実施課）	反映状況												
4	<p>「静岡市ブランド認証事業」に関するアンケート調査 （産業振興課）</p>	<p>認証品決定にかかる審査方法について、「市民の皆さんの意見を取り入れる方法として有効だと思うもの」に対する回答として、「市民の皆さんの集まるイベント等で申請された商品・製品を見て投票してもらう」が54%と最も多く、「インターネットを利用したアンケート調査で申請された商品・製品に投票してもらう」が23%で2番目に多かったことから、この2つの内容を取り入れ、審査の過程に「市民投票」を導入することとし、平成29年3月1日付で「静岡市地域産業振興ブランド認証事業実施要項」を改正した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民投票」では、イベント出展によるアンケート調査と、インターネット上でのアンケート調査を並行して実施する予定。 ・市内の魅力的な商品を市内外へ発信するため、今後もPR活動等に努めていく。 												
5	<p>自治会・町内会及び市民活動の現状・課題に関するアンケート調査 （市民自治推進課）</p>	<p>平成27年度の市民意識調査の結果を反映し、第3次静岡市市民活動促進基本計画の指標値のひとつを設定した。</p> <p>【指標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市民活動に「参加したことのある人」・「参加したいと思う人」の割合</th> <th colspan="2">指標</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H30(中間目標)</th> <th>H34(目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民活動に参加したことのある人</td> <td>45.0%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>市民活動に参加したいと思う人</td> <td>30.0%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標に掲げる割合の状況を確認するため、市政アンケートモニター(回答者98人)を実施したところ、市民活動に参加したことのある人は31人(約32%)だった。また、参加したことがないと回答した67人に対して、今後の参加希望(予定)を聴取したところ、41人が「機会があれば参加してみたい」、3人が「参加する予定がある」と回答した(約66%)。</p> <p>今後、この結果を踏まえ、「参加してみたい人」を「参加したことがある人」にするため施策を進めていく。</p> <p>自治会・町内会に関する自由意見で多く出ていた、「自治会・町内会活動への負担感」を軽減するため、市から自治会・町内会への依頼事項の見直しを検討していく。</p>	市民活動に「参加したことのある人」・「参加したいと思う人」の割合	指標			H30(中間目標)	H34(目標値)	市民活動に参加したことのある人	45.0%	60.0%	市民活動に参加したいと思う人	30.0%	30.0%
市民活動に「参加したことのある人」・「参加したいと思う人」の割合	指標													
	H30(中間目標)	H34(目標値)												
市民活動に参加したことのある人	45.0%	60.0%												
市民活動に参加したいと思う人	30.0%	30.0%												